

主な意見等の内容（要点） （9月）	対応する市の考え （11月）	基本構想における内容 （1月）
(ア) 本施設の避難床の高さは、限りなく10mに。	基準水位や緩衝空間の安全性等を踏まえ、高さ・日陰・容積率等の建築条件及び避難人員の増減を含め、避難床の高さや面積等を検討します。	基準水位や緩衝空間の安全性等を踏まえ、高さ・日陰・容積率等の建築条件及び約730人（R2国勢調査より）の避難人員等を最大限考慮し、たたき台より0.6m屋上避難床及び中間床の高さを上げました。
(イ) 中間層も、多少上方に。	(ア)と合わせて検討します。	基準水位以上で、たたき台より0.6m上げました。
(ウ) 階段・スロープ共に、道路から直ぐに入れるように変更してください。	階段及びスロープと避難床の取付部等の安全性を重視して、上り口等のレイアウトを検討します。	階段及びスロープについて、上り口を道路側に変更しました。また、スロープについては、道路上に滞留することを防ぐため、敷地内からも入れるようにしました。
(エ) 鍵は、緊急時には無くても入れるように。フェンスが階段・スロープの邪魔にならないように、無くてもよい。	災害時に、入口の鍵を壊して入れるように考えています。フェンスについては、平常時の保安対策のため設置が必要と考えています。	同左
(オ) 中間層にも床を設置して欲しい。	(ア)と合わせて検討します。	中間階に114㎡（約190人）の避難床を設置しました。
(カ) 地面部分は、今後、会館等を建設することが可能なように考慮されたい。	本施設の整備用地において、集会施設等の建設を考えていません。	同左
(キ) 日除け・雨除けに配慮願いたい。	(ア)と合わせて検討します。	中間層に避難床（190人）及び倉庫（162㎡）を設置しました。また屋上避難階には、容積率の関係から屋根の設置が出来ないため、タープなどによる対応等を検討していきます。

<p>(ク) 簡易トイレは3日間の対応は可能か。</p>	<p>備蓄や設備等については、全市的な避難施設との整合性を踏まえ、他の避難施設の状況と合わせて、仕様や数量等を検討します。</p>	<p>同左</p>
<p>(ケ) (地元説明会における) 本施設の高さについて、最大基準水位が3.4mだから安全を(3m)見て、避難床の高さを6.4mとしたとのことだが、住民としては、11.5mの想定津波(最大波の高さ)に対して、また川からの浸水も想定される環境で、6.4mで安全なのかという疑問で一杯です。住民の意見や本施設に対する信頼をも与えるような丁寧な対応をお願いしたい。</p>	<p>地元説明会や自治会からの意見等を踏まえ、基準水位を含めた津波の高さの考え方等について、津波防災地域づくりに関する法律に基づく基準水位を公表した神奈川県の説明、及び津波対策における最新の専門的知見を有する学識経験者の意見等を参考に、地元住民に丁寧に説明します。その上で、本施設の整備に係る基本構想における方向性等をお示しします。</p>	<p>令和4年11月3日に、神奈川県及び市より基準水位について、津波対策における最新の専門的知見を有する学識経験者の意見等も参考に説明しました。また、今後も一時的な緊急避難場所から避難所までの移動ルート等に係る避難計画や、自助・共助・公助のそれぞれに必要なとされる備蓄資機材の考え方等も含め、市民の不安解消につながるよう、様々な機会をとらえて説明していきます。</p>
<p>(コ) 早めの完成をお願いします。</p>	<p>この地区における津波避難対策を喫緊の課題と捉え、早期の完成に向けて、本施設の整備を進めます。</p>	<p>同左</p>